

私は、原爆投下から今年8月6日で70年目となった広島を訪れ、原爆ドームと広島平和記念資料館の見学、平和式典への参加をさせて頂きました。

広島平和記念資料館に入った瞬間言葉を失いました。自分の想像をはるかにこえるひさんさだったからです。全身火傷で皮膚が垂れ下がったり、ガラスが突きささり死んでいく子供。家の下じきになり、燃えながら「助けて」と泣きさけぶ声が聞こえてきそうでした。たった一発の原爆で多くの人々が命をおとし、また、後遺症で苦しみ続けるのです。すべて見学し終わった後、無差別に人を殺す原爆が許せなくなりました。

毎日あたりまえに学校に通ってあたりまえに勉強できていることがどんなに幸せかよく分かりました。幼いころに被爆し、亡くなってしまった人のことを思い、今私達にできることは「戦争」から目をそむけず、しっかりと知り、風化させないことだと思います。

日本だけでなく世界の人々が平和に暮らせる日がくることと願います。